

STOP! サシバエ ～冬場に対策を行いましょう～

サシバエによる牛への影響

①生産性の低下

- ・ストレスによる**飼料摂取量や休息時間が低下**
- ・食肉・牛乳の生産量が低下

※米国ではサシバエによる経済的被害額は22億ドル/年と報告（九州大学 HP）

②病原菌・ウイルスの媒介

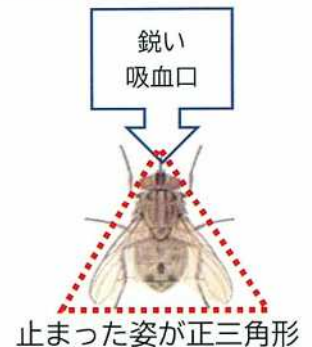
- ・乳房炎や腸炎、眼病、**牛伝染性リンパ腫などの感染**

サシバエの特徴及び生態

吸血性があり、強い痛みによるストレスを与える。

成虫の体長	♂ 3.0～6.5mm ♀ 5.0～8.0mm
口器	針型＝吸血
体色	グレーに見える
発生時期	春、晩夏から秋
最盛期	10月初旬

- ・**発生場所**は農場内にある**家畜の糞便、堆肥**
- ・蚊・吸血アブと違い**雌だけでなく雄も吸血**
- ・卵から成虫まで平均20日（26℃）
- ・羽化後1週間目から産卵開始。**寿命は平均15日**。
- ・サシバエの一日：農場を中心に生活
朝：**牛舎内で吸血**
昼：**牛舎周辺の葉の裏で休憩**
夕：**吸血のため、再び牛舎に飛来**
夜：牛舎の天井付近・柱に滞留し、夜を過ごす。



サシバエ防除のポイント

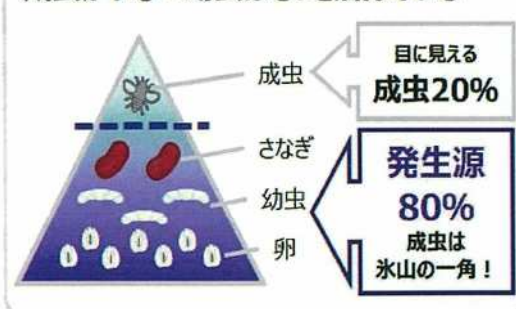
1～3月にサシバエ幼虫の駆除対策を行い、牛を病気・ストレスから守りましょう！！

温度とサシバエが卵から成虫になるまでの 発育日数の関係



冬季は気温が低いので、発育速度が遅い！
幼虫対策をすれば、殺虫剤を撒く回数も減少！

成虫がいる＝幼虫はもっと潜んでいる



（農林水産省 九州農政局パンフレットより）

沖永良部島の月別平均気温 (°C)



昆虫成長抑制剤＝IGR剤を活用しましょう！

- 幼若ホルモン様物質
成分名：ピリプロキシフェン（羽化阻害剤）
- 脱皮阻害剤
シロマジン系統の殺虫剤

幼虫の生息場所を狙って浸透するようにIGR剤を散布しましょう！

